

令和5年度 水道事業の概要について

米沢市上下水道部 水道課

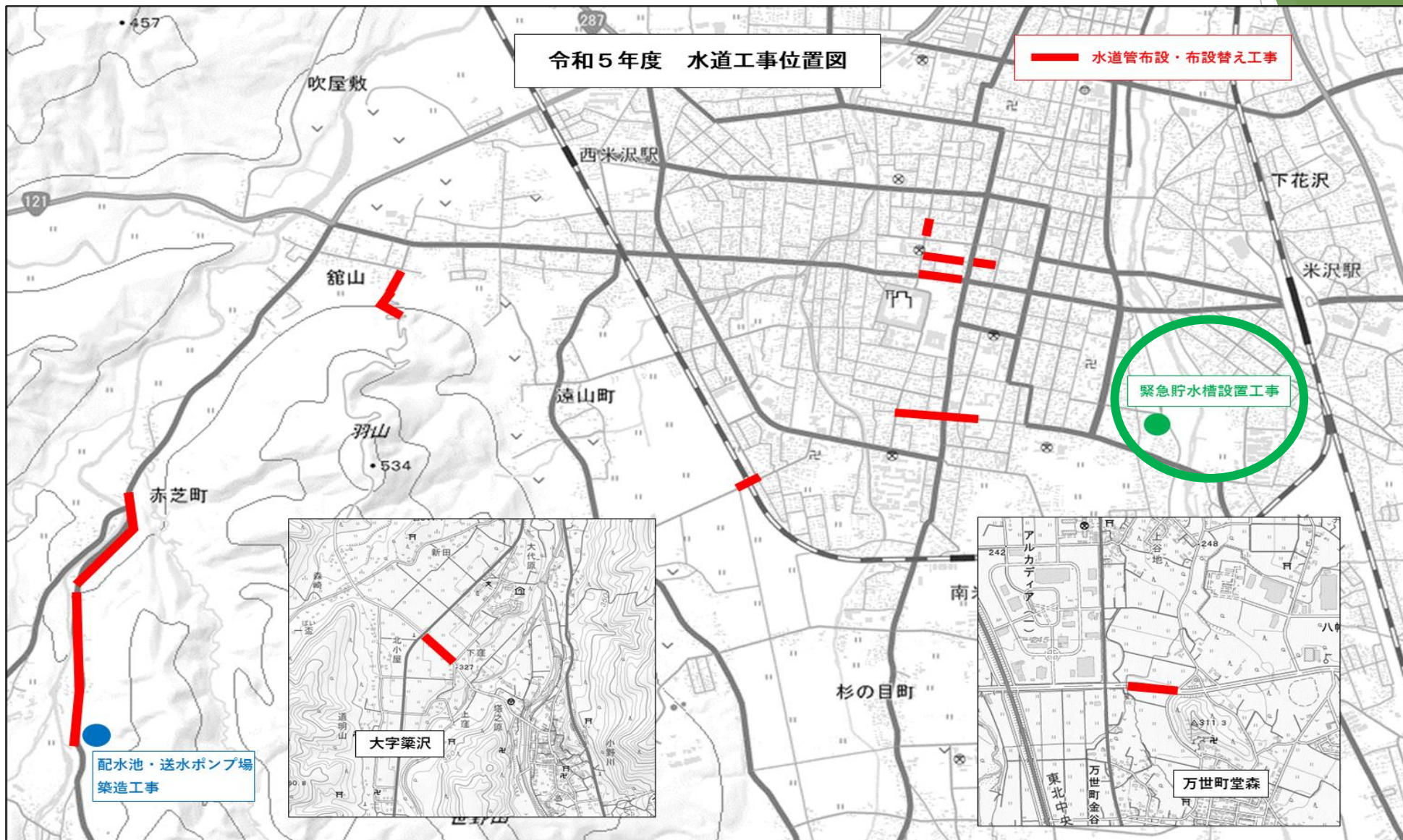
1 重要施設耐震化事業

2億2800万円

▶ 配水管布設替工事 延長 = 830m

交付金事業 4,400万円

※R3年～R18年 事業費：35億円



2 米沢市立病院 貯水槽



- ▶ **貯水量：100m³**
- ▶ **(500ミリリットル×20万本分)**
- ▶ **一人1日3リットル 11,100人3日分**

- **1億8300万円**
- **直径 3m × 長さ 15m**



11月1日(水) 開院
11月6日(月) 診療開始

特集

米沢市立病院・三友堂病院の

新病院建設が完了しました

3 米沢市立病院

災害拠点病院整備事業

災害拠点病院として建設した新米沢市立病院には、満たすべき要件がありますが、その中で水道事業に関連する下記の要件を満たすべく病院建設に当たって整備事業を行いました。

◎適切な容量の受水槽の保有、停電時にも使用可能な井戸設備の整備、優先的な給水協定の締結等により、**災害時の診療に必要な水を確保すること。** → **病院までの配水管の耐震化工事**

◎その他食料、飲料水、医薬品等について、流通を通じて適切に供給されるまでに費用な量として、**3日分程度を備蓄しておくこと。**

→貯水槽の整備

【参考】 「災害拠点病院」に求められる機能

- 1 24時間いつでも災害に対する緊急対応でき、被災地域内の傷病者の受け入れ・搬出が可能な体制を持つ。
- 2 実際に重症傷病者の受け入れ・搬送をヘリコプターなどを使用することができる。
- 3 消防機関（緊急消防援助隊）と連携した医療救護班の派遣体制がある。
- 4 ヘリコプターに同乗する医師を派遣できることに加え、これらをサポートする、十分な医療設備や医療体制、情報収集システムと、ヘリポート、緊急車両、自己完結型で医療チームを派遣できる資器材を備えている。

4 上水道施設改良事業

2億9,489万円

- 配水管布設替工事 延長=1,864m
災害復旧工事
(大字口田沢 上屋敷橋)
- 消火栓新設工事 1基
- 流量計更新工事 1基



(1) 工事内容について

【現在の現場状況】

国道121号線側から小野川町方面を望む

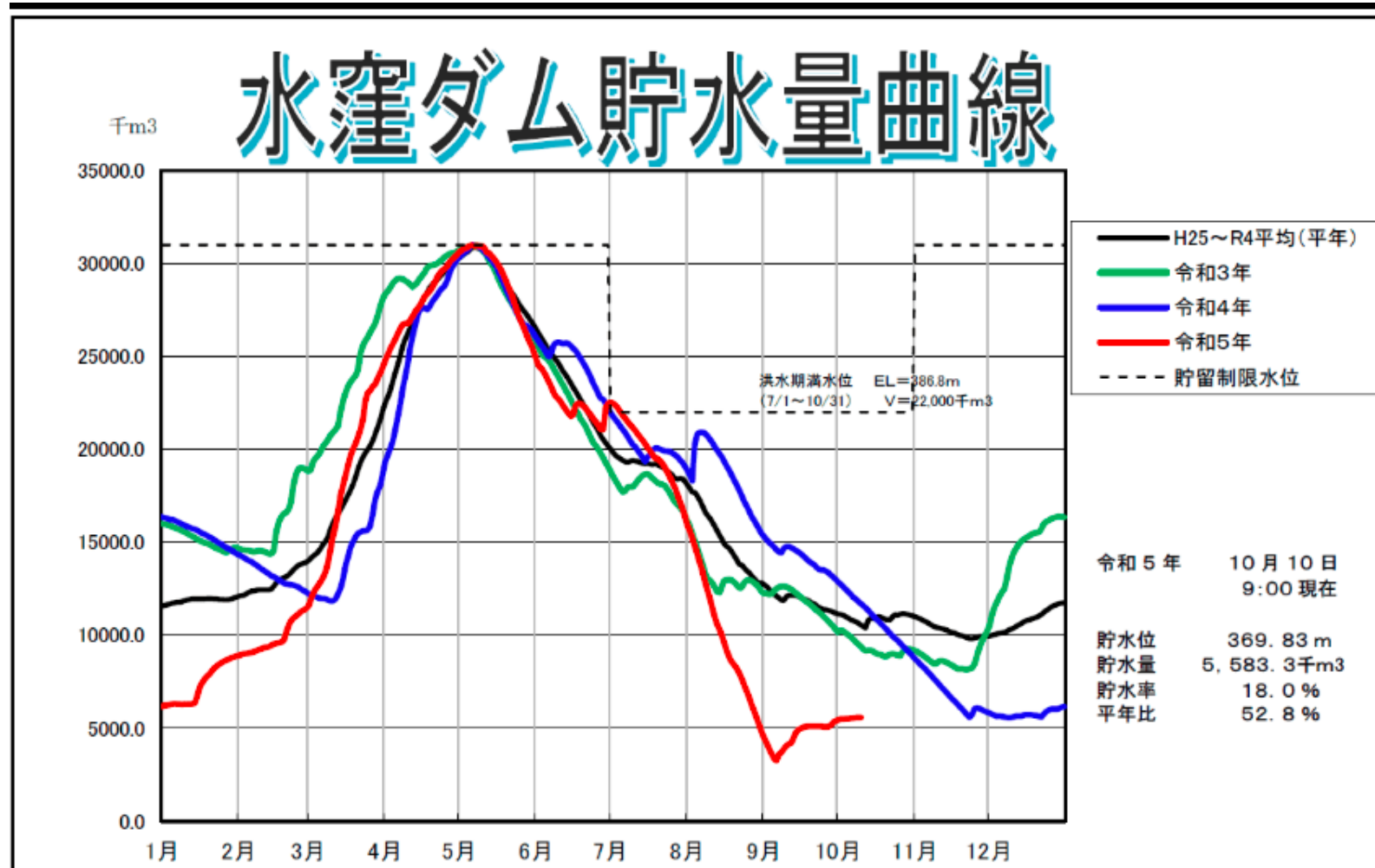


小野川町方面から国道121号線側を望む

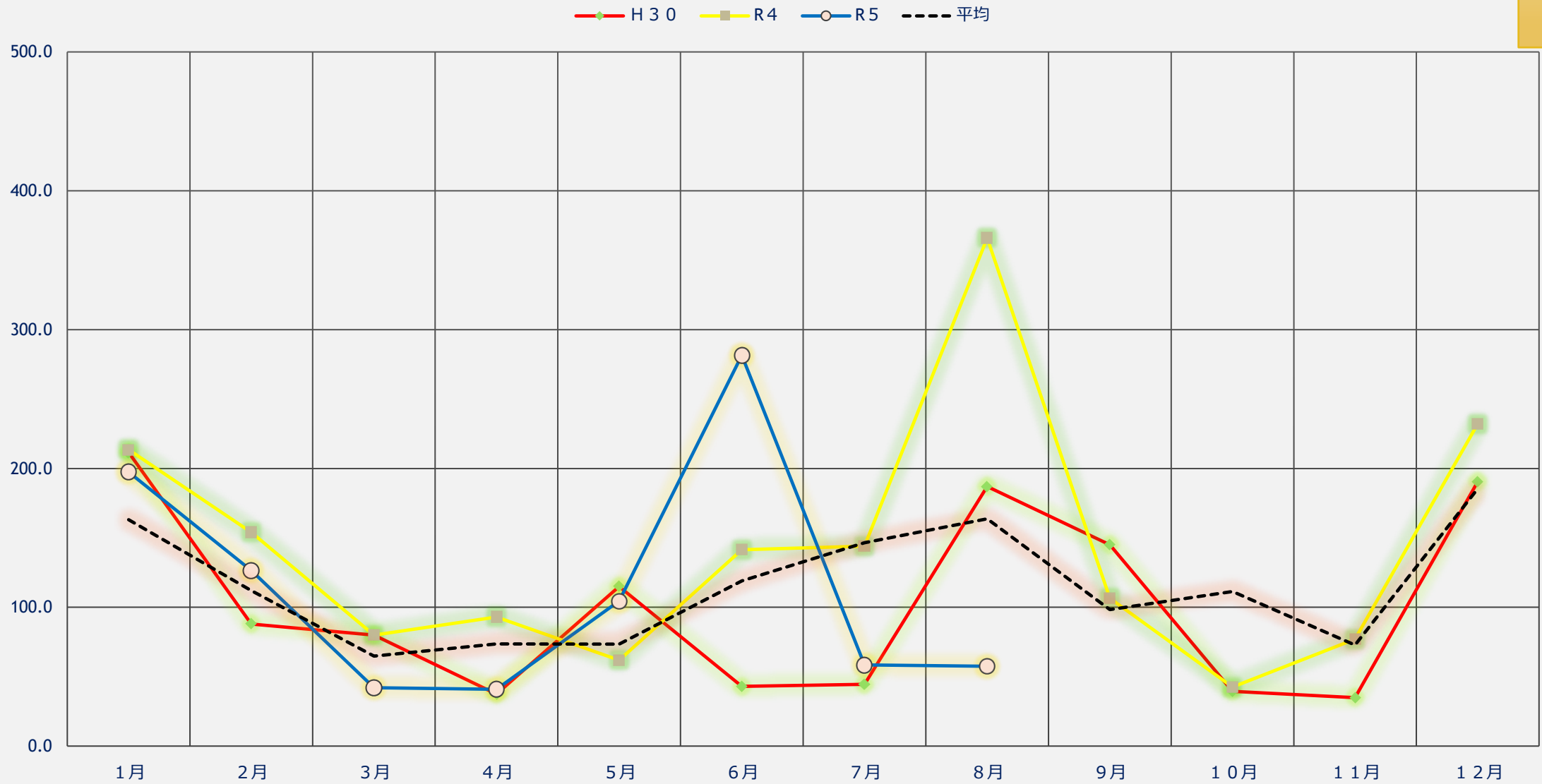


5 水窪ダム水位 R5.10.10現在

出典：米沢平野土地改良区HP



雨量月別



6 応急給水訓練 R5.9.22(金)



日本水道協会 東北支部合同訓練

▶ 【米沢市会場】

▶ 給水車 12台

- ①福島市 ②会津若松市 ③郡山市 ④白河市
- ⑤二本松市 ⑥伊達市 ⑦本宮市
- ⑧相馬地方広域水道
- ⑨山形市
- ⑩山形県企業局
- ⑪上山市
- ⑫最上川中部水道企業団



7 PFASについて

- ▶ 全国各地で有機フッ素化合物（PFAS）による水質汚染により、水道水、地下水の安全性に懸念の声があるため、
米沢市の水道水について検査した結果、検出されなかった。
- ▶ PFASとは4730種を超える有機フッ素化合物の総称。自然界で分解しにくく水などに蓄積することがわかったほか、人への毒性も指摘されており、国際条約で廃絶や使用制限しています。PFASのうち「PFOS」と「PFOA」は水や油をはじき、熱に対し安定的な特性があることから、**消火剤やフライパンのコーティング剤**などに使われてきました。国内でも2021年までに法令で製造と輸入を原則禁止した。21年度に実施した河川や地下水の調査では、31都道府県のうち13都府県81地点で暫定的な目標値を上回る高い濃度が検出された。PFOSやPFOAが混ざる水を飲まないよう自治体が井戸の所有者に指導や助言をしている